

師謝礼の支出根拠」「図書館管理システムの導入とサービス拡充」「本多公民館防火シャッター故障修繕における不適切な対応」「東京オリンピック・パラリンピックの機運醸成計画及び障害者スポーツ振興の取組」「スポーツ振興計画策定スケジュール」「体育施設自動券売機借上での予算計上の適正性」等、**総務費**では「市報のカラー化」「庁用車等の給油のクレジットカード化」「公共施設等総合管理計画実施における地域福祉の重要性」「業務プロセス分析結果の有効活用」「まちの魅力発信の事業予定とPR」「イメージキャラクター『ぶんじほたるホッチ』の契約更新の方向性」「国分寺まつりへの出店許可の考え方、都から会場の占用許可を受ける市と出店許可を出す実行委員会との権限、法的根拠」「DV防止、犯罪被害者支援」「施設予約システム構築スケジュールとIT弱者対策」「個人番号カード管理システム障害の発生状況」「証明書等コンビニ交付サービス」「18歳選挙権に向けた取組と（仮称）共通投票所の設置、現投票区の見直し検討」等、**債務負担行為調書**では「将来の財政負担を決定する債務負担行為設定の妥当性」等、**地域バス運行事業特別会計**では「運行予定ルート of 収支見込と渋滞に配慮したルート選定」等、**介護保険特別会計**では「新総合事業開始での事業費への影響と一般介護予防事業の拡充」「認知症総合支援、生活支援コーディネーター設置等の今後の取組」などに対する質疑がありました。

撤回再提案ののち賛成多数で可決

市長から体育施設自動券売機借上に関し不適切な予算計上があったため「議案第1号」を撤回する旨の発言が委員会であり、3月16日の本会議では議案の撤回、再提案がありました。

委員会では、再提案「議案第58号」の付託を受け審査し採決を行った結果、一般会計予算案は賛成多数、その他の7特別会計も全員賛成または賛成多数で可決しました。22日開催の本会議でも同様の結果となりました。（※一般会計予算案に対する各会派の討論は5～7頁に、各議員の本会議での表決結果は7頁に掲載）

介護保険条例等改正議案を賛成多数で可決

本年4月から介護予防・日常生活支援総合事業（以下「新総合事業」）を開始することから地域支援事業の内容を整理する条例改正が提案され、厚生委員会に付託して審査しました。

委員会では「利用者自身によるサービス選択・決定」「積極的な情報提供」「認知症地域支援推進員の配置計画と役割」「市の新総合事業に係る多様なサービス実施に関する国の責任」等の質疑・意見が示されました。

本会議、委員会とも採決にあたり「新総合事業の導入は社会保障費抑制であり、介護サービスの抑制等が懸念される」との反対討論と、「少子・高齢化で限られた財源でのサービス提供が課題であり、介護給付費等適正化は大事。地域

包括ケア構築にあたり、新総合事業に期待する。丁寧な周知・対応を求める」「介護の社会化を後退させずサービス内容充実を求める」との賛成討論があり、賛成多数で可決しました。

継続審査中の日吉保育園民設民営化議案を賛成多数で可決

継続審査となっていた市立日吉保育園を民営化し、その園舎を受託法人に譲渡するための「国分寺市立保育所設置条例の一部を改正する条例」と「財産の譲渡」は、2月8日の文教子ども委員会で一括して審査を行いました。

委員会では、担当から前回指摘のあった議決前に財産の譲渡を受託法人と取り交わした「協定書」については、議会の議決を停止条件とする「覚書」を取り交わすことで訂正したとの報告がありました。質疑、討論の後採決を行ったところ両議案とも可否同数となり、委員長は可決と裁決しました。

2月19日の本会議では委員長報告の後「民営化は児童への影響が大きい。コスト削減にもならない。保育士の退職は市の損失。保育士不足で保育園誘致が進まず、待機児童解消に逆行する。市民・保護者への説明が不足している」「覚書により不備は補われた。市が積極的に保育園誘致を進めてきたことを評価する」「今回のことは今後の民営化に生かしてほしい。開園が迫っておりやむを得ない」といった反対・賛成の討論があり、賛成多数で可決しました。

市政を問 平成28年 第1回定例会 代表質問の質問事項・答弁の要旨

内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを代表質問が行われた順番で掲載しています

人口減少待ったなし、さらなる前進を



自民党国分寺市議団 本橋 たくみ

●市財政について

本橋 平成28年度予算案、一般会計約408億円、特別会計を含めると約708億円の予算ということで過去最高の予算規模となっている。収支均衡、また財政調整基金の積み増しなど、将来を見据えた財政の健全化を掲げて財政運営をされてこられた点はとても評価できる。また平成26年度予算編成からゼロベース部局積み上げ方式を採用されてきたが、これまでの評価について問う。**(市長)** 平成26年度からゼロベース部局積み上げ方式を採用し、その結果、財政調整基金残高を約33億円まで積み増すことができた。前年度の実績に関係なく、事業費をゼロから積み上げていくこの方式がしっかりと定着をしていくように今後とも指導していく。

●新庁舎建設に向けた基金について

本橋 平成23年に庁舎基金が廃止され、財政調整基金に約16億円繰り入れられた。この庁舎基金分について切り離す時期にきていると考えるがどうか。**(市長)** 庁舎基金を切り離しても約18億円の財政調整基金が残る。平成28年度中には切り離しを行いたい。

●国分寺市総合ビジョンについて

本橋 平成28年度が第四次長期総合計画の最終年度である。今後は長期総合計画を改めて国分寺市総合ビジョンを策定されていくとのことだが、少子高齢化問題、人口減少問題等、諸課題

は多い。どのように解決に繋げていくのか問う。**(市長)** 急速な少子高齢化、人口減少、公共施設の老朽化、高度情報社会の進展、市民ニーズの多様化など、市の実情に合わせた計画の策定を、市民参加のもとで行っていく。計画の期間についても従来の10年間から、スピーディに課題を解決していくために8年間の設定にしていく。

●待機児解消について

本橋 平成28年度に新たに3園の保育園が開園予定で173名の定員が確保される。今後の待機児童の見通しと、同時に保育の質の向上について問う。

(市長) 待機児童については昨年の88名と変わらない状況だと見込んでいる。ゼロ、1、2歳の待機児童が多い状況で、その辺りも含めて今後とも待機児童の解消に力を入れていく。また、基幹型保育所システムを構築し、質の向上についても力を入れていく。

●学童保育について

本橋 働く女性の増加、若年層の経済的厳しさから学童保育のニーズも高まっている。4月に新たに民設民営の学童を開設予定であるが、今後も新たな開所を考えているのか問う。

(市長) 学童については全員入所で受け入れを行っているが、狭隘状況といった課題がある。これからも積極的に誘致していきたい。

●教育施設の充実について

本橋 平成28年度も学校トイレの洋式化や特別教室へのエアコンの設置を行い、今後も教育環境の充実を図っていく必要があると考えるが、考え方を問う。**(市長)** 学校トイレの洋式化については、今年度は3校実施し、来年度以降も行っていく。特別教室のエアコンについても普及させていく。

●高齢者福祉について

本橋 2025年には団塊の世代が75歳以上になり、今後も認知症の予防政策を充実させ、高齢者福祉予算の抑制を行っていく必要があり、同時に介護事業についても充実を図っていく必要があると考えるが考え方を問う。**(市長)** 認知症地域支援推進員を新たに配置し認知症予防に効果的な取り組みを行っていく。また見守り態勢も強化していく。

●スポーツ振興について

本橋 オリンピック・パラリンピックの開催を控え、スポーツの機運が高まっている。補助金等をしっかり活用してスポーツ環境の充実を図っていただきたい。**(市長)** 補助金を活用したスポーツ施設の整備、拡充を行っていき、生涯スポーツ環境の整備につとめていく。

●農業振興について

本橋 都市農業振興基本法が制定され、国分寺でも農業振興に力を入れていただきたい。**(市長)** 生産緑地の追加指定や、生産者と消費者をマッチングさせるなど、農家の経営基盤の強化につとめていく。

形作って中身が入っていないにならぬように



国分寺政策市民フォーラム 皆川 りうこ

施政方針に対し、二元代表制のもと行政のチェック機関として評価すべきところは評価し、厳しいことも是々非々の姿勢で質問します。

◆皆 市長就任3年目。政策、人事、財政、組織等ABCで言えば市長自身どう評価するか？
次ページに続く▶